

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	経験の浅い職員もいるので、身体拘束に対する意識付けを更にアップさせる取り組みを実施されることを期待する。	全職員が身体拘束廃止(特にスピーチロック)に強い意識を持って取り組む。	身体拘束廃止委員だけではなく、全職員が自分も身体拘束廃止委員だと思ってケアにあたり、自分の発言を振り返ると共に、スピーチロックに当てはまるような発言を耳にした時は、その場で気づいてもらえるように伝え合える関係性の構築に努める。	12ヶ月
2	10	法人全体のホームで共通の家族への満足度調査を実施され、更なるサービスの向上に繋がれることを期待する。	家族のホームに対する満足度を今より向上させる。	家族のホームに対する意見や要望の聞き取りをしていき、反映、実践していく。	12ヶ月
3	33	定期的なターミナルケアについての研修を実施されることを期待する。	ターミナルケアの知識や技術を養う。	定期的なターミナルケアについての研修を実施する。	12ヶ月
4	38	災害発生時の地域との協力体制(避難後の見守り役など)の構築に向けた取り組みに期待する。	日々の積み重ねにより、地域住民との関係性を構築する。	散歩や外出の際、地域の方に出会った時に積極的に挨拶し、コミュニケーションを図る。 地域の行事があれば顔を出したり、関係性を構築する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。